「サステナビリティ・リンク・ローン（京都ゼロカーボン・フレームワーク）」の取組みについて

２０２６年３月２７日

京都中央信用金庫（理事長 植村 幸弘）は、取引先の脱炭素化支援の一環として、「サステナビリティ・リンク・ローン（京都ゼロカーボン・フレームワーク）」（以下、本ローン）の取組みを進めています。

２０２６年２月に当金庫取引先２社が本ローンを取り組みされましたのでお知らせします。

サステナビリティ・リンク・ローンとは、SPTs（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）の達成に応じて金利優遇等のインセンティブを付与する融資のことです。

京都ゼロカーボン・フレームワークとは、京都府が地域金融機関等とともに ESG 投融資（サステナブルファイナンス）を促進し、府内企業の脱炭素化を支援する全国初の仕組みであり、２０２３年１月に構築されました。

CO2 排出量削減目標の達成により金利優遇を受けられる融資契約において必要な第三者評価に、京都府地球温暖化対策条例に基づく特定事業者制度を準用することで、審査に要する費用が不要になるものです。京都府や金融機関へのレポーティングを通して、中小企業の CO2 排出量削減を金融面からアシストする仕組みとなっています。

尚、本ローンの枠組みそのものが国際基準（※）に適合した形態で、その旨の第三者意見書を株式会社日本格付研究所（JCR）から取得しています。

※ローン・マーケット・アソシエーション（ＬＭＡ）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（ＡＰＬＭＡ）、ローン・シンジケーション＆トレーディング・アソシエーション（ＬＳＴＡ）が定義する「サステナビリティ・リンク・ローン原則（ＳＬＬＰ）」および、環境省が定義する「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（環境省ガイドライン）」

記

【取組企業の概要】　＜敬称略、五十音順＞

借　入　人	社会福祉法人　同和園 理事長　亀谷　英央
所　在　地	京都市伏見区醍醐上ノ山町１１
事　業　内　容	福祉事業
実　行　日	２０２６年２月２７日（金）
資　金　使　途	運転資金
脱炭素化の取組み	園内で CO_2 排出量削減目標を共有し、職員の省エネ意識を向上させるとともに、省エネ設備への更新を行う等、CO_2 排出量削減を目指します。

京都中央信用金庫

借　　入　　人	株式会社　ハタイタ製作所 代表取締役　畑板　剛久
所　　在　　地	京都府久世郡久御山町田井新荒見１０１
事　業　内　容	金属プレス製造業
実　　行　　日	２０２６年2月１７日（火）
資　金　使　途	運転資金
脱炭素化の取組み	社内で CO_2 排出量削減目標を共有。デマンド装置の導入により、機械別のエネルギー使用量を把握し、各種機械の運用改善を実践することで、CO_2 排出量削減を目指します。

以　上

京都中央信用金庫